

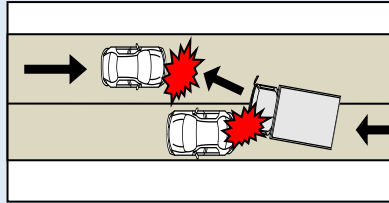
車に乗せたら

チャイルドシート!

ボクの
指定席!



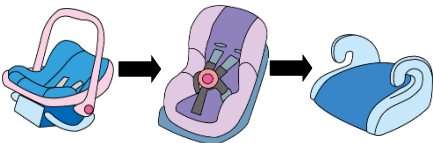
大破した事故車両写真



〔事故事例〕

大型貨物自動車が前車に追突後、中央線をはみ出し対向してきた乗用車と正面衝突。乗用車は大破し、命に関わる重大事故と思われたが、運転席の母親はシートベルトを着用、後部座席の幼児（1歳）はチャイルドシートを使用していたため「かすり傷」程度ですんだ。

幼児の体格を目安に選ぶ



乳児用
(新生児～1歳)

幼児用
(1歳頃～
4歳頃)

学童用
(4歳頃～
10歳頃)

チャイルドシートは、体重・身長を目安にして3種類に分かれています。その他に、長期間使える「兼用タイプ」等もあります。

正しく取り付けしっかり固定

しっかり取
付けでき
ないと、お
さんを衝
撃から守
れませ
ん!

緩みがないか
チェック!



チャイルドシートの効果を発揮させるためには正しく取り付けることが大切です。取扱説明書に従って、しっかり固定しましょう。

チャイルドシート使用は 運転者の義務です

〔道路交通法第71条の3第3項〕

道路交通法で「運転者は、チャイルドシートを使用しない幼児を乗車させて自動車を運転してはならない」と決められています。



違反点数

1点

※ ただし負傷や傷病などの除外規定があります。

使わないとこんなに危険!

抱っこの危険

時速 40 キロで衝突した場合でも、体重 10 キロの子どもは、30 倍の 300 キロもの重さになって投げ出されます。大人の両腕でも支えることはできません。



座るだけの危険



シートベルトをしていないと、衝突した際はもちろん、急なブレーキでも、車内でぶつかったり、車外に放り出されてしまうことがあります。

大人用ベルトの危険

体の小さな子どもが大人用のシートベルトを着用すると、ベルトから体がすり抜けたり、ベルトが首にかかる等の危険があります。

